

平成 29 年度

「校長経営戦略支援予算決算報告書」

大阪市立矢田西中学校

校長 呂玉 光弘

平成 30 年 3 月

## 大阪市立矢田西中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算配付申請書(総括)

## 1 学校運営における現状と課題 ※運営に関する計画の 1 学校運営の中期目標欄に記載の現状と課題を再掲

ここ数年の学校の落ち着きとともに、学校や社会のルールを守るなど生徒の規範意識は高いが、安全安心な学校・楽しい学校生活には課題が残る。また、自尊感情が全国に比べて低く、継続して家庭・地域とも協力し、基本的な道徳心・規範意識の醸成に努める必要がある。

学力面では、全国学力・学習状況調査やチャレンジテスト等において、全体としては効果が表れつつあるが、まだ基礎・基本の定着が不十分な生徒の割合が多く、論理的思考能力においても弱い面がある。また、放課後学習など校内で環境を整えると、参加する生徒は多くみられるが、家庭における自主的な学習習慣が身についていない生徒が多く、生活習慣のあり方とともに、学習面での自立などの課題が残る状況である。

体力面においては、全国体力・運動能力等調査では全国平均を上回るものも多いが、学年や種目によっては下回るケースもあり、安定した運動習慣がさらに必要である。

## 2 学校運営の中期目標 ※運営に関する計画の 1 学校運営の中期目標欄に記載の中期目標を再掲

**【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】**

- [全国学力・学習状況調査] ・・・ 平成32年度の生徒質問紙調査での肯定的回答
  - ・「将来の夢や目標を持ってていますか」…毎年70%以上にする。  
(施策 2 道徳心・社会性の育成)
- [各学校におけるいじめ・問題行動調査等]
  - ・平成29年度～32年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年95%以上にする。  
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- [各学校におけるアンケート] ・・ 平成32年度末生徒・保護者アンケートでの肯定的回答
  - ・生徒「学校のきまり・規則を守っていますか」…94%以上にする。  
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
  - ・生徒「学校は落ち着いており、安心して学校生活を送れる」…90%以上にする。  
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
  - ・生徒「楽しい学校生活を送っている」…80%以上にする。  
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
  - ・生徒「すすんで挨拶をしている」…80%以上にする。  
(施策 2 道徳心・社会性の育成)
  - ・生徒「自分にはよいところがある」…70%以上にする。  
(施策 2 道徳心・社会性の育成)
  - ・生徒「学校では将来の進路や生き方について考える機会がある」…90%以上にする。  
(施策 2 道徳心・社会性の育成)
  - ・生徒「命や人権の尊さについての各設問 …90%以上にする。  
(施策 2 道徳心・社会性の育成)
  - ・生徒「読書が好き」…平成28年度より10%増加させる。  
(施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)
  - ・保護者「学校は情報公開(学年・学級通信・ホームページなど)をよく行っている」…75%以上にする。  
(施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

## **【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】**

### ○ [全国学力・学習状況調査]

- ・平成 32 年度の全国学力・学習状況調査における知識に関する問題・活用に関する問題の平均正答率で、大阪府平均を上回る。

(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

### ○ [大阪府中学校チャレンジテスト]

- ・平成 32 年度の大坂府の中学校チャレンジテストにおける各教科の平均正答率で、大阪府平均を上回る。

(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

### ○ [大阪市英語力調査]

- ・平成 32 年度の大坂市英語力調査における各学年の平均スコアで大阪市平均を上回る。

(施策 6 国際社会において生き抜く力の育成)

- ・平成 32 年度の大坂市英語力調査における、中学校卒業段階での英検 3 級以上の英語力を有する生徒の割合を平成 28 年度より 10% 以上上回る。

(施策 6 国際社会において生き抜く力の育成)

### ○ [全国体力・運動能力、運動習慣等調査]

- ・平成 32 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における調査結果で、男女とも全国平均を上回る。

(施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)

### ○ [各学校におけるアンケート] ··· 平成 32 年度末生徒アンケートでの肯定的回答

- ・「授業がわかりやすい」 … 平成 28 年度より向上させる。 「

(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- ・「家で学校の授業の復習（予習）をしていますか」 … 平成 28 年度より向上させる。

(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- ・「朝食を毎日食べていますか」 … 85% 以上にする。

(施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)

- ・「運動することが好き」 … 80% 以上にする。

(施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)

## **【その他】**

### ○ [小中一貫教育の充実]

- ・小中兼務を計画・実施するとともに、毎年小中教員の全体会・合同研修会を 1 回以上開催し、教職員の相互授業見学や生徒間交流などを複数回実施する。

(施策 8 施策を実現するための仕組みの推進)

### 3 中期目標の達成に向けた年度目標 (全市共通目標を含む) ※運営に関する計画再掲

#### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

##### 全市共通目標（小・中学校）

- ① 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ② 平成29年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童（生徒）の割合を90%以上にする。
- ③ 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童（生徒）数を前年度より減少させる。
- ④ 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童（生徒）の割合を前年度より減少させる。

##### 学校園の年度目標

- ⑤ 今年度の全国学力・学習状況調査での「将来の夢や目標を持っていますか」の設問で肯定的回答を70%以上にする。
- ⑥ 校内生徒アンケートでの「学校は落ち着いており、安心して学校生活を送れる」の設問で肯定的回答を90%以上にする。
- ⑦ 校内生徒アンケートでの「楽しい学校生活を送っている」の設問で肯定的回答を80%以上にする。
- ⑧ 校内生徒アンケートでの「すすんで挨拶をしている」の設問で肯定的回答を80%以上にする。
- ⑨ 校内生徒アンケートでの「自分にはよいところがある」の設問で肯定的回答を70%以上にする。
- ⑩ 校内生徒アンケートでの「学校では将来の進路や生き方について考える機会がある」の設問で肯定的回答を90%以上にする。
- ⑪ 校内生徒アンケートでの命や人権の尊さについての設問で肯定的回答を90%以上にする。
- ⑫ 校内生徒アンケートでの「読書が好き」の設問で肯定的回答割合が前年度より上回る。
- ⑬ 校内保護者アンケートでの「学校は情報公開（学年・学級通信・ホームページなど）をよく行っている」の設問で肯定的回答を75%以上にする。

#### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

##### 全市共通目標（小・中学校）

- ① 平成29年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。  
(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ100となるよう標準化した得点のこと)
- ② 平成29年度の中学校チャレンジテストにおける正答率4割以下の児童（生徒）を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。
- ③ 平成29年度の中学校チャレンジテストにおける正答率7割以上の児童（生徒）を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
- ④ 平成29年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童（生徒）の割合を、前年度より増加させる。
- ⑤ 平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である（立ち幅とび）の平均の記録を、前年度より5ポイント向上させる。

### **学校園の年度目標**

- ⑥ 全国学力・学習状況調査における知識に関する問題・活用に関する問題の平均正答率で、大阪府平均を上回る。
- ⑦ 大阪府の中学校チャレンジテストにおける各教科の平均正答率で、大阪府平均を上回る。
- ⑧ 大阪市英語力調査における各学年の平均スコアで大阪市平均を上回る。
- ⑨ 大阪市英語力調査における、中学校卒業段階での英検3級以上の英語力を有する生徒の割合を前年度より上回る。
- ⑩ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における調査結果で、男女とも全国平均を上回る。
- ⑪ 校内生徒アンケートでの「授業がわかりやすい」の設問で前年度より向上させる。
- ⑫ 校内生徒アンケートでの「家で学校の授業の復習（予習）をしていますか」の設問で前年度より向上させる。
- ⑬ 校内生徒アンケートでの「朝食を毎日食べていますか」の設問で肯定的回答を80%以上にする。
- ⑭ 校内生徒アンケートでの「運動することが好き」の設問で肯定的回答を80%以上にする。

### **【その他】**

小中兼務を計画・実施するとともに、毎年小中教員の全体会・合同研修会を1回以上開催し、教職員の相互授業見学や生徒間交流などを複数回実施する。

#### 4 28年度の自己評価結果の総括 ※28年度の運営に関する計画再掲

##### 【視点 学力の向上】

全国学力・学習状況調査の平均正答率の対府比は、国語A 0.98（昨年度 0.96）、国語B 1.01（昨年度 0.98）、数学A 1.00（昨年度 0.94）、数学B 1.00（昨年度 0.85）となり、いずれも昨年度より上回った。大阪府チャレンジテスト3年の対府比は、国語 0.97、社会 1.02、数学 0.98、理科 0.91、英語 0.89、平均 0.96 で、昨年の2年の対府比（国語 0.95、社会 0.96、数学 1.00、理科 0.86、英語 0.90、平均 0.94）と比べると、国語・社会・理科で昨年度を上回り、平均で 0.02% 上回った。しかし英語では府平均を 6 ポイント以上下回っており、英語力向上を図る必要がある。

校内アンケートで「授業がよくわかる」と肯定的に回答する生徒は 75% で、昨年度の 81.5% から後退したが、3年チャレンジテストのアンケートの「教科の授業の内容がわかる」で肯定的回答した生徒は、国語 85%、数学 87.5%、理科 92.5% であった。一方で校内アンケートの「意見をまとめたり、発表したりする機会が多い」で肯定的回答が 56% にとどまり、全国学力・学習状況調査やチャレンジテストの質問紙調査でも授業形態の工夫や改善の必要性が浮かび上がっている。

校内アンケートの「家庭学習の習慣が身についている」で肯定的回答が 46% にとどまった。家庭学習を習慣づける取り組みの必要がある。

##### 【視点 道徳心・社会性の育成】

校内アンケートの「学校生活は楽しい」で肯定的回答が 79% で 8 割を切り、昨年の「学校生活はどちらかと言えば楽しい」の 89% より下がった。質問の仕方が変わったことも影響していると考えられるが、88% が「学校は落ち着いて安心して生活が送れる」と回答しており、行事だけでなく学習面での達成感を向上させることで、真に学校が楽しく思えるようにしていかなければならない。

校内アンケートの「学校内のきまりを守っている」では 96% に達した。その他「決められた服装を守っている」が 98%、「学校生活において時刻を守っている」が 94% になっており、規範意識は高いと考えられる。

校内アンケートの「体育大会や文化祭などの学校行事は充実している」で 93% が肯定的回答だった。また教科授業以外の人権、命、道徳、食育、健康、体力、防災等の取り組みについても 90% 以上が学ぶ機会があると回答しており、多面的な教育活動の成果があらわれている。しかし、「自分には自信のあることやよいところがある」の設問での肯定的回答は 61% にとどまっており、いろいろな取り組みや活動を通して、より自尊感情を高めていかなければならぬ。

##### 【視点 健康・体力の保持増進】

全国体力・運動能力等調査では、合計点で男子は全国に及ばなかったが大阪府を上回った。女子は今年度も全国を上回った。男女の合計点の平均は 46.0 で全国の 45.8 を上回った。

校内アンケートで「朝食を食べている」の肯定的回答は 78% で 8 割を切った。各種生徒質問紙調査での同様の設問でも全国に比べてやや差がある。食育の取り組みを、家庭への啓発も含めてより一層推進していかなければならない。

## 5 29年度の自己評価結果の総括 ※運営に関する計画再掲(年度末に記述)

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

[全市共通目標] ②③については、各取組の成果として目標を達成できた。①④については目標を達成できなかつたが、①については 100%解消に向けて指導・見守りを継続中、④については家庭とも連携した指導を粘り強くおこない、昨年より登校日数が増えている生徒もいる。

[学校園の年度目標] 各取組の成果として、⑥はわずかに目標値に満たなかつたが、それ以外は目標を達成できた。

[総括] 全体として概ね目標を達成できた。今後も一人ひとりが安心して登校できる環境づくり、一人ひとりの課題に向き合って成長できる生徒指導に努めていく。

[今後の課題] 道徳の教科としての取組を一層進めていく必要がある。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

[全市共通目標] ①2・3年ともに達成できた。②③達成できた学年とできなかつた学年があつた。⑤男子は達成、女子は未達成であった。平均すると目標値5%は超えなかつたが、昨年度より2%上回っている。

[学校園の年度目標] ⑥国語A B・数学A Bとも大阪府平均を上回り目標を達成した。数学は全国平均も上回った。⑦大阪府を上回ったのは3年数学と2年の理科だけであつた。⑧すべての学年で大阪市平均を下回った。⑨昨年と比べると約2倍に増加している。⑩～⑭アンケートの結果により⑭はわずかに目標値に達しなかつたが、それ以外は達成できた。

[総括] 3年生については、3年間の指導の中で着実に学力の向上がみられる。1・2年生については、まだまだ市・府と比較して及ばない結果になっているが、2年生は昨年度と比べるとやや向上しており、取り組みの成果があらわれている。

昨年度の課題であった英語についても、3年生の英検取得率が大幅に増加するなど、少しずつ成果が出始めている。

[今後の課題] 各種質問紙調査では学習意欲に関しては高い傾向にあるが、チャレンジテストにおいて無回答率が増えている。今後も高い学習意欲を維持させながら、いかに点数に結びつけるかの学力課題を克服する工夫が必要である。

### 【その他】

①小中一貫教育の充実

[総括] 英語についての連携がすすんだり、両校の学力実態から言語活動に課題があると共通理解できたこと等、学力向上の視点、カリキュラムの一貫性に向けて取り組みを進められた。

[今後の課題] 学力の課題について、連携して取り組んでいく。

## 6 事業執行管理体制名簿

学校長 (児玉 光弘)  
教頭 (金森 茂生)  
学校事務職員 (宮尾 雅之)

申請受付日	
指導部で記入	→ /

【様式 2 - 1】  
(所属(市費)コード 742696)

大阪市立矢田西中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算 【**基本配付**】配付申請書

年度目標	達成状況
<b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</b>	
<b>学校の年度目標</b>	
⑤ 今年度の全国学力・学習状況調査での「将来の夢や目標を持っていますか」の設問で肯定的回答を70%以上にする。 ⑩ 校内生徒アンケートでの「学校では将来の進路や生き方について考える機会がある」の設問で肯定的回答を90%以上にする。 ⑪ 校内生徒アンケートでの命や人権の尊さについての設問で肯定的回答を90%以上にする。	
<b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b>	
<b>全市共通目標（小・中学校）</b>	B
① 平成29年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。（標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ100となるよう標準化した得点のこと） ② 平成29年度の中学校チャレンジテストにおける正答率4割以下の児童（生徒）を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。 ③ 平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける正答率7割以上の児童（生徒）を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。	
<b>学校の年度目標</b>	
⑥ 全国学力・学習状況調査における知識に関する問題・活用に関する問題の平均正答率で、大阪府平均を上回る。 ⑦ 大阪府の中学校チャレンジテストにおける各教科の平均正答率で、大阪府平均を上回る。 ⑧ 大阪市英語力調査における各学年の平均スコアで大阪市平均を上回る。 ⑨ 大阪市英語力調査における、中学校卒業段階での英検 3 級以上の英語力を有する生徒の割合を前年度より上回る。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策 2、道徳心・社会性の育成】 心を揺さぶられる芸術や芸能に触れることで、豊かな人間性を育成する。	B
指標　・年に 1 回芸術鑑賞行事を実施し、豊かな情操の育成につなげる。	
取組内容②【施策 2 道徳心・社会性の育成】 職業調べ・職業講話等を学年に応じて実施し、生徒一人一人が将来の生き方を考える力を養う。	A
指標　・学校アンケートの「学校では、将来の進路や生き方について、考える機会がある」の設問で肯定的回答を 90 %以上にする。	

<p>取組内容③【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 大阪の歴史・文化について学び、郷土を愛する心を育む。</p>	B
<p>指標　・大阪の史跡や博物館等で学習する機会を年1回設ける</p>	
<p>取組内容④【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】 放課後学習や長期休業期間の補充・チャレンジ学習を実施し、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上に努める。  【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 〔英語科〕各学年ともに週2回以上ICTを活用した授業を展開し、帶活動としてListeningテストを週2回以上実施する。2・3年生においては長文問題を意識した「読みトレ」を2年生50日分、3年生100日分取り組む。</p>	B
<p>指標 ・大阪府の中学校チャレンジテストにおける各教科の平均正答率で、前年度を上回る。 ・大阪市英語力調査における各学年の平均スコアで前年度を上回る。 ・大阪市英語力調査（英検IBA）における中学校卒業段階における英検3级以上の英語力を有する生徒の割合を30%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 ICTを活用した教育の推進</p>	B
<p>指標　・ICTを活用した授業の実施回数を前年度より20%増やす。</p>	
•	
28年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容① 杜子春の劇を鑑賞し人間にとって大切なものを学んだ。他の様々な取組を通して人権尊重の精神を育てる人権教育を行った。</p>	
<p>取組内容② 1年生は3学期の職場訪問に向けて、職業調べ・訪問先の事業所調べ・マナー講座を事前学習として取り組んでいる。</p>	
<p>2年生は6/30・7/1の2日間、職場体験を行った。事前学習として調べ学習・あいさつ訪問を行い、まとめ学習に取り組んだ。</p>	
<p>3年生は進路選択に向けて進路講話を行った。</p>	
<p>取組内容④ ・問題集を利用したり、生徒の学力にあわせたプリントを作成することで、反復することから基礎学力の定着を図った。 ・学習の内容理解と成果のさらなる向上のため、ICT機器を用いた指導や用具の改良、ワークシートや指導法の工夫などを積極的に行った。</p>	
29年度への改善点	
<p>取組内容② 次年度以降継続してキャリア教育が実施できるよう、資料を整理し、次年度の学年集団に引き継ぎができるよう努める。</p>	
<p>取組内容④ ・書くことへの抵抗はある程度取り扱うことが出来たようであるが、文章の構成力、言葉を吟味する力についてはまだ課題があるため、今後も「文章力ステップ」などを導入し、継続的に言語力向上のための取り組みを行っていく必要がある。</p>	

- ・問題に粘り強く取り組ませるために、振り返り学習、家庭学習、日々の授業教材から、基礎の定着を今までと同様に図っていく。また外発的動機付けであっても構わないので、自律的に問題にかかわって、問題への問い合わせをもち、解決へ変容させていく。

#### 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

##### 取組内容①：【施策2、道徳心・社会性の育成】

古典芸能に関する芸術鑑賞を行った。

##### 取組内容②：【施策2 道徳心・社会性の育成】

6月に2年生で職場体験、11月に1年生が職業講話、2月に職場訪問を実施した。3年生では教育相談や懇談などをはじめ、日々卒業後の進路について考える機会を持った。また、アンケート結果は98%で目標を十分に上回った。

##### 取組内容③：【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

11月に2年生の校外学習で大阪市内の博物館等を班別に散策し、目標を達成した。

##### 取組内容④：【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】

夏休みには各学年で学力補充学習を行った。また、チャレンジ講座も開催し、のべ93人が参加した。放課後には各教科・各学年でテスト前の学習会を、冬休みには3年生で補充学習を実施した。大阪府の中学校チャレンジテストにおける各教科の平均正答率で、3年生は5教科中4教科、2年生は3教科中2教科、前年度を上回った。また、大阪市英語力調査における各学年の平均スコアでは3学年とも前年度を上回った。

##### ：【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】

[英語科] ICTを使ってほぼ毎時間授業に取り組み、目標を十分に上回った。Listeningについては1年生では練習から始め、2学期以降は2・3年生と同じように、テスト形式で実施し、目標を達成した。「読みとれ」は計画通り実施し、目標を達成した。英検IBA(大阪市英語力調査)に向けては、総合力が必要で卒業段階において間に合うように努力し続けているが、各学年ともに大阪市の平均には及ばなかったが、11月の時点で前年度を上回って、3年生で3級レベル以上の生徒が44.4%となり目標を十分に上回った。1年生では9.7点2年生では7.4点前年度を上回った。チャレンジテストでは、府の平均では前年度より0.2点下回ったものの、大阪市の平均点よりは0.2点上回った。大阪市統一テストでは、2.1点前年度より上回った。その結果、各テストでも少しはあるが学力の向上が見られた。全体的に各学年共に目標を概ね達成した。

##### 取組内容⑤：【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】

各教科がすべての単元においてではないが、プロジェクターや大画面テレビ、書画カメラ、タブレットを用いた授業を展開している。さらに多くの単元でICTを用いた授業を展開できるように環境を整えていく。ICTを活用した授業の実施回数は、前年度より20%増やすことができた。

### 次年度（今後）への改善点

取組内容①：次年度も引き続き、人と人との「つながり」を大事にした学校行事を充実させ、前向きで活動的な学校文化をめざしていく。

取組内容②：1年の職業講話・職場訪問、2年の職場体験と定着しつつあるので、継続して実施しているように準備を進めていく。

取組内容③：文化祭の取り組みと重なるので、実施の時期を検討する必要を感じる。

取組内容④：【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】

長期休業中の各学年での学力補充学習や、テスト前の放課後の勉強会を引き続き実施していく。夏休みチャレンジ講座は2年目を終え、定着しつつあるので、内容・実施期間等充実させていく。

：【施策6 國際社会において生き抜く力の育成】

〔英語科〕 英検IBAでは、前年度より英検3級レベルの割合が増えたものの、市平均より下回っているので、4領域共に一層のレベルアップを図る。デジタル教科書が授業用パソコンに組み込まれており、ICT機器を使った授業の充実を図らなければならない。

取組内容⑤：ICT教育の情報発信を行うとともに、各教科が各単元の授業において、ICT機器を使用しやすいように整備し、さらに多くの単元でICTを用いた授業を開けるようにしていく。

**◆基本配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲**

【様式 2 - 2】

大阪市立矢田西中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算 【基本配付】配付申請書

**学校申請額 650,000 円**

※配付上限額(※円単位)

学校配当	学級数	学級配当	特別支援学級数	学級配当
300,000	+	4	×	50,000

配付上限額

=	650,000
---	---------

◆学校申請額費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	学びサポート 一経費	9-5 教職員 管内出張旅費	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費
0	0	11,200	0	0	0	64,000

12-4 手数料	12-7 損害保険料	13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費
0	0	350,000	45,000	0	179,800	0

合計
650,000

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【施策 2、道徳心・社会性の育成】

心を揺さぶられる芸術や芸能に触れたり、体験することで、豊かな人間性を育成する。

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
13	芸術鑑賞 @ 350,000 円	350,000

取組内容②【施策 2 道徳心・社会性の育成】

職業調べ・職業講話等を学年に応じて実施し、生徒一人一人が将来の生き方を考える力を養う。

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
12-1	職場訪問学習交通費 @ 800 × 42 名 = 33,600 円	33,600
9-5	職場訪問学習にかかる教職員旅費 @ 800 × 7 名 = 5,600 円	5,600

**取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】**

放課後学習や長期休業期間の補充やチャレンジ学習を実施し、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上に努める。

**【施策6 國際社会において生き抜く力の育成】**

〔英語科〕各学年ともに週2回以上ICTを活用した授業を展開し、帶活動としてListeningテストを週2回以上実施する。2・3年生においては長文問題を意識した「読みトレ」を2年生50日分、3年生100日分取り組む。

**予算内訳**

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
11-1	放課後学習用各教科指導用問題集 @1,000×52冊=52,000円	52,000

**取組内容④【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】**

- ・大阪の歴史・文化について学び郷土を愛する心を育む。

**予算内訳**

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
12-1	多様な体験学習交通費 @800×38名=38,000円	30,400
14-1	多様な体験学習施設入場料@1,000×38名=38,000円	38,000
9-5	多様な体験学習旅費 @800×7名=5,600円	5,600
14-1	多様な体験学習施設入場料@1,000×7名=7,000円	7,000

**取組内容⑤【施策6 國際社会において生き抜く力の育成】**

**ICTを活用した教育の推進**

**予算内訳**

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
18-2	プロジェクター超短焦点モデル @127,800×1台	127,800

•

•

•

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

申請受付日
指導部で記入 →

【様式 3 - 1】  
(所属(市費)コード 742696)

大阪市立矢田西中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算 【加算配付】配付申請書

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</b></p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <p>② 平成 29 年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童（生徒）の割合を 90% 以上にする。</p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <p>⑥ 校内生徒アンケートでの「学校は落ち着いており、安心して学校生活を送れる」の設問で肯定的回答を 90% 以上にする。</p> <p>⑦ 校内生徒アンケートでの「楽しい学校生活を送っている」の設問で肯定的回答を 80% 以上にする。</p> <p>⑧ 校内生徒アンケートでの「すすんで挨拶をしている」の設問で肯定的回答を 80% 以上にする。</p> <p>⑨ 校内生徒アンケートでの「自分にはよいところがある」の設問で肯定的回答を 70% 以上にする。</p> <p>⑩ 校内生徒アンケートでの「学校では将来の進路や生き方について考える機会がある」の設問で肯定的回答を 90% 以上にする。</p> <p>⑪ 校内生徒アンケートでの命や人権の尊さについての設問で肯定的回答を 90% 以上にする。</p> <p>⑫ 校内生徒アンケートでの「読書が好き」の設問で肯定的回答割合が前年度より上回る。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</b></p> <p>言語力向上、表現力育成のために、読書活動の推進に取り組み、学校図書館を活性化する。</p>	B
<p><b>指標</b></p> <p>貸出冊数が昨年度を上回る。図書館を整備し、蔵書冊数 8000 冊以上にする。</p>	
<p><b>取組内容②【施策 2 道徳心・社会性の育成】</b></p> <p>人ととの「つながり」を大事にした学校行事を充実させ、前向きで活動的な学校文化をめざす。</p>	B
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校アンケートの「体育大会や文化祭などの学校行事は充実している」の設問で肯定的回答を 90 % 以上、「学校生活は楽しい」の設問で肯定的回答を 80 % 以上にする。</li> </ul>	

## 28年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 取組内容①

- ・生徒、教職員から希望を募って図書購入をし、図書室の整備が進んだ。教科学習・総学習時に図書室を利用する機会が増えた。

### 取組内容②

- ・体育委員や文化委員と生徒会と一緒に運営することで、体育大会・文化祭が無事に開催し成功することができた。また、生徒一人一人に達成感を覚えることができた。  
後期生徒会も全校集会や執行委員会などの運営に努力している。そして、2月・3月の取り組みに向けて日々活動を行っている。

## 29年度への改善点

### 取組内容①

- ・図書室だよりを発行し、図書室に関する掲示物などを充実させて、読書活動を推進していく。学級文庫をもっと活用できるようにする。図書室利用者をもっと増やすために、今以上に多種多様な書籍の充実を図る。

### 取組内容②

- ・様々な取り組みにおいて、教員も分担して仕事ができるようにしていきたい、少しでも生徒会の活動を活性化できるようにしていく。

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 取組内容①【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

図書館の利用が大幅に増加し、貸出冊数が非常に増えた。「読書が好きである」の肯定的割合が昨年度全国学力学習状況調査（3年）で57.5%であったが、今年度校内アンケートで63%となった。蔵書冊数が8000冊以上になった。

### 取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】

学校評価アンケートの「学校行事は充実している」の設問で肯定的割合が94%、「学校は楽しい」の設問で肯定的割合が88%であった。

## 次年度（今後）への改善点

取組内容①：図書館利用者をもっと増やすために、多種多様な書籍の充実を図る。

取組内容②：人権尊重の精神、豊かな感性を育む学校行事を進めていく。

## ◆加算配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

【様式 3 - 2】

大阪市立矢田西中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算 【加算配付】配付申請書

**学校申請額 1,569,000 円**

◆学校申請額費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料	12-7 損害保険料
0	0	0	0	0	0	0

13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費	合計
0	0	0	1,569,000	0	1,569,000

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

言語力向上、表現力育成のために、読書活動の推進に取り組み、学校図書館を活性化する。

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
18-2	書棚（両面タイプ）@570,000×1台	570,000

取組内容②【施策 2 道徳心・社会性の育成】

人と人との「つながり」を大事にした学校行事を充実させ、前向きで活動的な学校文化をめざす。

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
18-2	張出舞台@999,000×1台	999,000

•

•

•

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になつてもさしつかえありません。

### 【様式 3 - 3】

#### 大阪市立矢田西中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算 【加算配付】配付申請書 (補足説明資料)

- ・補足説明資料は、A3用紙2枚(A4用紙4枚)までとする。
- ・様式は問わない。(ワード、エクセル・パワーポイント・原稿(紙様式)等)

※取組内容の必要性と期待できる効果は必ず記載して下さい。

#### 【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

昨年度の全国学力・学習状況等調査において、本校の「読書が好きですか」の設問での肯定的な回答は 57.5%と全国(69.9%)に比べて大きく下回っている。

その原因の一つに、生徒の図書館を利用する時間的問題と図書館の環境整備面があげられる。

本校では昨年度より親子給食が先行実施となり、今まで以上に昼食に時間がかかり、昼休みに図書館が開館されても、実際には行く時間もない状況であった。

そこで今年度は、少しでも図書館にも足を運びやすいように、昼の休み時間を延長し、校内でも工夫をしたところである。

また、図書の蔵書調査で学校図書が不足していたため、昨年度多くの図書館用図書を購入したが、保管用の書棚が不足して困っている状況である。一昨年度より、週に一度、図書館補助員が来校し、さらに地域の図書ボランティアの方にも週に2回来ていただき、図書館利用の推進や読書環境の定着に努めているところである。

今後はさらなる生徒の図書館利用や読書活動、言語活動の充実を図り、教科学習・総合学習における情報センターとしての機能を十分に果たせるようにも学校図書館を整備したい。

#### 【施策 2 道徳心・社会性の育成】

ここ数年の生徒のアンケートでは規範意識は高いが、自尊感情が低いのが一つの特徴である。また、安心した学校では高い結果が出ているが、楽しい学校には今一つのアンケートの結果が出ていない。

一小一中で生徒数も減少(全校生徒で 129 名)するなか、部活動が成り立たなくなり減少していく中で、生徒が達成感を得るものとして学校の行事は大きな存在である。

確かな学力を身に付ける為に、学校の落ち着いた環境は大きな要因となる。本校がここ数年、一定の落ち着きのもと、生徒が充実した学校生活を送ることができるようになったその根源の一つに文化祭・体育大会などの学校行事がある。特に文化祭は、学年・学級・教科・部活動の舞台発表や展示発表に学校総体として一丸となって取り組み、大変充実したものになっており、生徒はもちろん保護者や地域住民も楽しみにしている。

生徒どうしの「つながり」に加え、生徒と教職員の「つながり」を生み出し、互いの「信頼」関係や「絆」を形成し、本校の根幹となる学校行事となっている文化祭である。

しかし、体育館の舞台が狭いため、毎年発表の内容も制限されがちで、移動式の張出舞台があれば、舞台発表の幅が広がり、より充実した教育活動が展開できる。

なにより、文化祭実施後の生徒向けアンケートによると、本校の生徒達自らが張出舞台の必要性を強く感じており、生徒のやる気や熱意を引き出すためにも張出舞台があればと感じているところである。

また、本校の文化祭は土曜授業として、小学生や地域にも公開しており、小中一貫教育の推進、また、特色ある学校文化として、地域にも発信することができる。

ぜひ、張出舞台を使用し、今以上に成就感・達成感ある文化祭の舞台発表にしたい。



期待される効果として、「楽しい学校生活を送っている」「自分にはよいところがある」などの年度目標を達成するだけでなく、安全で安心な学校づくりにも大いに関係してくることが予想される。

加算配布 … 選定外 H29. 6. 30

申請受付日  
指導部で記入 →

申請受付日

/

【様式 4-1】

(所属(市費)コード 742696)

大阪市立矢田西中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算 【基本配付】

配付額変更申請書

学校申請額 **650,000 円**

◆学校申請額費目別予算変更額(※円単位)

予算費目	8-1 報償金	9-5 教職員管内出張旅費	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料
既学校申請額		11,200	0			64,000	
変更増減額		0	60,500			0	
増減後額		11,200	60,500			64,000	

予算費目	12-7 損害保険料	13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費
既学校申請額		350,000	45,000		179,800	
変更増減額		0	0		△60,500	
増減後額		350,000	45,000		119,300	

◆変更事由

学力向上への取り組みに不可欠な放課後学習指導用の教材購入ための予算が不足する為。

◆取組内容・予算内訳(増額内容のみ記載)

取組内容①【施策 5 子ども一人一人の状況に応じた学力向上への取り組み  
施策 6 国際社会において生き抜く力の育成】放課後学習や長期休業期間の補充やチャレンジ学習を実施し、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上に努める。

( )

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
11-1	放課後学習用各教科指導用問題集 @ 1,100 × 55 冊 = 60,500 円	60,500

指導部で記入 →  
申請受付日  
/

【様式 4-1】

(所属(市費)コード 742696)

大阪市立矢田西中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算 【基本配付】

配付額変更申請書

学校申請額 650,000 円

◆学校申請額費目別予算変更額(※円単位)

予算費目	8-1 報償金	9-5 教職員管内出張旅費	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料
既学校申請額		11,200	60,500			64,000	
変更増減額		△1,970	△13,420			△1,600	
増減後額		9,230	47,080			62,400	

予算費目	12-7 損害保険料	13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費
既学校申請額		350,000	45,000		119,300	
変更増減額		△70,000	△45,000		131,990	
増減後額		280,000	0		251,290	

◆変更事由

ICT を活用した教育の推進にかかる備品購入のための予算が不足する為。

◆取組内容・予算内訳(増額内容のみ記載)

取組内容①【施策 6 国際社会において生き抜く力の育成

ICT を活用した教育の推進

( )

予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
18-2	液晶プロジェクター 超単焦点型 @251,290×1 台=251,290 円	251,290

申請受付日
指導部で記入 → /

**【様式 6-1】**

(所属(市費)コード 742696)

大阪市立矢田西中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算 **【基本配付】** 執行見込報告書

**学校申請額 650,000 円**

◆取組内容

**取組内容①【施策 2、道徳心・社会性の育成】**

心を揺さぶられる芸術や芸能に触れたり、体験することで、豊かな人間性を育成する。

**取組内容②【施策 2 道徳心・社会性の育成】**

職業調べ・職業講話等を学年に応じて実施し、生徒一人一人が将来の生き方を考える力を養う。

**取組内容③【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】**

放課後学習や長期休業期間の補充やチャレンジ学習を実施し、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上に努める。

**【施策 6 國際社会において生き抜く力の育成】**

[英語科] 各学年ともに週 2 回以上 I C T を活用した授業を開催し、帶活動として Listening テストを週 2 回以上実施する。2・3 年生においては長文問題を意識した「読みトレ」を 2 年生 50 日分、3 年生 100 日分取り組む。

**取組内容④【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】**

- ・大阪の歴史・文化について学び郷土を愛する心を育む。

**取組内容⑤【施策 6 國際社会において生き抜く力の育成】**

- I C T を活用した教育の推進

◆学校申請額費目別予算執行見込額(※円単位)

予算費目	8-1 報償金	学びサポー ター経費	9-5 教職員管 内出張旅費	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費
学校申請額			9,230	47,080			62,400
執行見込額			9,230	47,080			62,400
不用額			0	0			0

予算費目	12-4 手数料	12-7 損害保険料	13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費
学校申請額			280,000	0		251,290	
執行見込額			280,000	0		251,290	
不用額			0	0		0	

申請受付日
指導部で記入 →
/

**【様式 8-1】**

(所属(市費)コード 742691)

大阪市立矢田西中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算 **【基本配付】** 決算報告書

**学校申請額 650,000円**

◆取組内容

取組内容① 【施策 2、道徳心・社会性の育成】 心を揺さぶられる芸術や芸能に触れたり、体験することで、豊かな人間性を育成する。
取組内容② 【施策 2 道徳心・社会性の育成】 職業調べ・職業講話等を学年に応じて実施し、生徒一人一人が将来の生き方を考える力を養う。
取組内容③ 【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】 放課後学習や長期休業期間の補充やチャレンジ学習を実施し、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上に努める。
【施策 6 國際社会において生き抜く力の育成】 〔英語科〕各学年ともに週 2 回以上 I C T を活用した授業を開催し、帶活動として Listening テストを週 2 回以上実施する。2・3 年生においては長文問題を意識した「読みトレ」を 2 年生 50 日分、3 年生 100 日分取り組む。
取組内容④ 【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 大阪の歴史・文化について学び郷土を愛する心を育む。
取組内容⑤ 【施策 6 國際社会において生き抜く力の育成】 I C T を活用した教育の推進

◆学校申請額費目別予算決算額(※円単位)

予算費目	8-1 報償金	学びサポーター経費	9-5 教職員管内出張旅費	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費
学校申請額			9,230	47,080			62,400
執行見込額			6,500	47,080			59,200
不用額			2,730	0			3,200

予算費目	12-4 手数料	12-7 損害保険料	13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費
学校申請額			280,000			251,290	
執行見込額			280,000			234,792	
不用額			0			16,498	